



夜間に地震が発生し、津波が押し寄せてくるという想定で3月1日、今浦自主防災会のみなさんによる避難訓練が行われました。

午後7時に防災無線で避難の呼び掛けを行うと、町内のこどもから大人まで約70人が声を掛け合いながら、避難場所の大江寺に集まりました。

避難訓練のあとは、防災の勉強会を行い、消防署職員からAEDを使用した心肺蘇生法や救命法などの指導も受けました。

もしもに備えて「夜間避難訓練」



国の登録有形文化財に指定されている旧広野家住宅で、3月1日、2日に「広野家のひなまつり」が行われ、55年前の写真をもとに再現した明治初期の古ひな飾りや、国産最古といわれる長尾オルガン、3月1日号の『よみがえる「鳥羽」をみる』のコーナーで紹介された火鉢などが展示されました。

当日は、甘酒やひなあられの振る舞いもあり、訪れた人たちは火鉢を囲みながら、ひな飾りを観賞したり、昔話を花を咲かせていました。

二日間で、市内外から400人近いかたが見学に訪れました。

明治の庄屋のひなまつり

まちの話題 旧号



3月8日、市民体育館で市内のこどもたちによる「新体操教室発表会」が行われました。

同教室は、来年9月に世界新体操選手権三重大会が開催されるのを機に競技の普及を目的として昨年7月から始まりました。幼稚園から小学校6年生までの約50人のこどもたちが参加して、フープを使った演技など練習を重ねてきましたが、今回その成果を披露しました。

こどもたちが、リズムに乗ってフープを操るかわいらしい演技に、会場から温かい拍手が送られていました。

リズムに合わせてかわいい演技



地域や漁業の歴史、海的环境など鏡浦中学校全校生徒が今年一年間行ってきた「KAGAMIURA^{セブン}」の学習成果の発表会が3月5日、海の博物館で行われました。

発表会には、鏡浦中学校の生徒ら23人のほかに、4月から中学生になる鏡浦小学校6年生の児童や地域のかたたちも参加し、会場は満員となりました。

3年生の山本雄大くんは、「今年は、去年より幅広く調べることができました。大人になったら今回学んだことを地域のこどもたちに伝えたり、自分も漁をしたりしたいと思います」と話してくれました。

一年間の成果を発表